

第六回フオト旬会優秀作品(1月17日)

<自由題>



ラストでも
襻の重荷みな同じ
上山 裕次



偉大なる
存在こそは我が誇り
中村 雅道



一年の勤め
果たしてお焚きあげ
大越 浩平

屋久島の
三岳登らで赤ら顔
三 春



上山さん：駅伝でも人生でもランナーは重荷を背負っているという意味深長な句。
写真の構図もシャッターのタイミングも良かった。
雅道さん：雄（円の中）が雌を賛美している。妻礼賛はこの作者のいつものテーマ。
大越さん：一瞬ゴミ溜めと思ったが、実は旧年のお札納め。一年間の感謝を込めて。
三春さん：屋久島の三岳を登る代わりに焼酎「三岳」を飲み干したという句。
作者の酒豪振りは今にはじまったことではないが・・・。

<句 付 け>

1月のお題写真



NASAの船うさぎかぐやを蹴散らかす 大月和彦
餅ばなれ月のうさぎも職探し 三 春

<寸 評>

今月のお題写真も句付けには難しいお題でした。
今月から二句投句OKとしましたが、一句つくるのが精一杯
という状況で、無理やり作ったせいか私の句も含めて、
支離滅裂の作品が見られました。したがって入選句は二句のみ
としました。

大月さん：NASAのロケットにより月のウサギやかぐや姫のメルヘンは蹴散らかされたという理知的な作品。

「うさぎかぐや」と語が連なると判りにくい。

三春さん：例年餅つきをしていたうさぎが餅の消費が減ったので失業し就活をしているという情けない句です。

なんということもない句ですが、他に目に付く句がなかったので入選。

写真提供者の弁：女房が折り紙細工の先生をしているので、
ゴマすりもあって、彼女の作品をお題写真に採用しました。少し難しかったかな？